

SECTION 05

Google Maps APIを利用して アクセスマップを作成

Internet Explorer
6 7 8
Firefox 2 以上
Safari 3 以上

MdN Corporation

アクセスマップ

所在地
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-3
日本ビルディング九段別館9階
株式会社エムディエヌコーポレーション



アクセス
● JR市ヶ谷駅より徒歩8分
● 東京メトロ有楽町線/南北線、都営新宿線 A4出口より徒歩4分

制作・文：あそひろき

Google Maps APIを利用して、アクセスマップを作成します。また、道筋を示すラインも表示して、よりわかりやすい案内マップにしてみましょう。

制作のポイント

- ・ Google Mapの初期表示位置をJSURLクエリから取得
- ・ Ajax通信を行いマップマーカーを外部ファイルから取得
- ・ ポリライン機能の実装

使用するおまなコード/ライブラリ

Google Maps API
<http://code.google.com/intl/ja/apis/maps/documentation/>

TECHNIC 1 マーカークリックで吹き出しを表示



マップマーカーをマウスでクリックすると、吹き出しを表示することができます。また、ダブルクリックすると中央座標に戻るようにします。

TECHNIC 3 マップ上に縮尺を表示



マップ上に縮尺を表示することができます。

TECHNIC 2 アクセスルートに色を付ける

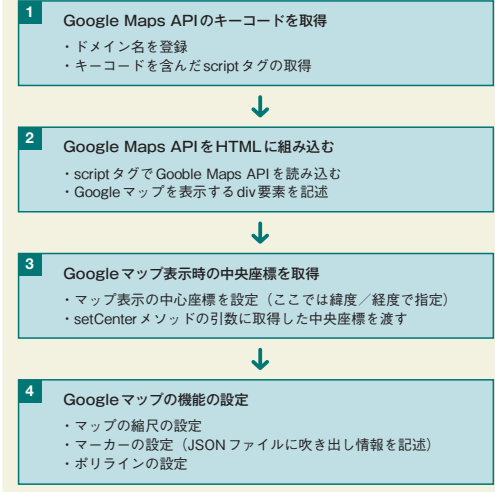


アクセスルートをカラーライン（ポリライン）で表示することができます。

Google Maps APIを利用するための作業の流れ

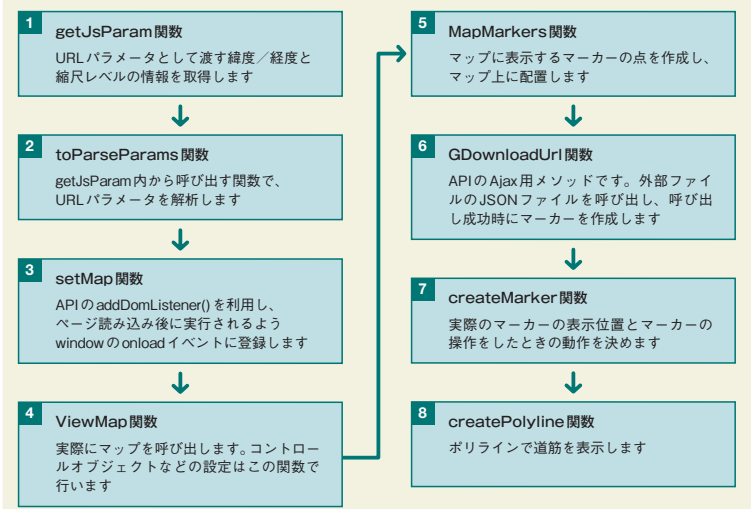
01 Google Maps APIを利用してアクセスマップを作成します。まず、Googleマップを自分のサイトに組み込む場合に何をすればよいかをまとめておきましょう。全体の作業の流れは **1-1** のようになります。

1-1 Googleマップを組み込む際の作業の流れ



02 このスクリプトでは、合計7つの関数を作成します。Google Maps APIを利用するときにはJavaScriptでどのような処理が必要になるかがわかるよう、各関数がどのような処理をもち、どのような順番で呼び出されるかについてもまとめておきます **2-1**。また、ここでは「google_map_viewer」というハッシュ（連想配列）を作成して各関数を定義していきます（ここではこのgoogle_map_viewerを「ハッシュオブジェクト」と呼びます）。ハッシュオブジェクトを利用した関数の定義方法は **2-2**、関数の呼び出し方は **2-3** のようになります。

2-1 作例のスクリプトで作成する関数と実行の流れ



2-2 ハッシュを利用した関数の定義方法

```
var google_map_viewer = {
  関数1 : function(){
    関数の処理内容
  },
  関数2 : function(){
    関数の処理内容
  }
},
```

2-3 ハッシュを利用した関数の呼び出し方

```
google_map_viewer.関数1();
google_map_viewer.関数2();
google_map_viewer.関数3();
```